

<一般会計>

1 子ども部

- 1 保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます 33
 - 私立保育所等整備補助（私立保育所） 35
 - 私立保育所等運営補助（認可保育所） 36
 - 私立保育所等運営補助（認定こども園） 36
 - 地域型保育事業運営補助（家庭的保育事業） 36
 - 地域型保育事業運営補助（小規模保育事業） 36
 - 地域型保育事業運営補助（居宅訪問型保育事業） 36
 - 地域型保育事業運営補助（事業所内保育事業） 36
 - 認証保育所等運営補助 36
 - 病児・病後児保育室運営 36
 - 保育士奨学金返済支援助成 37
 - 学童クラブ事業運営 37
 - いずみこどもプラザ運営補助 37
 - 富士見わんぱくひろば事業運営 37
 - 学校内学童クラブ 37
 - 私立学童クラブ運営補助 37
 - 園内業務支援システム 38
 - 四番町保育園・児童館仮施設整備・運営
（代替施設の整備） 38
 - 四番町児童館物品等移設 38
 - 四番町保育園物品等移設 38
 - （仮称）四番町公共施設整備（工事費） 39
 - （仮称）四番町公共施設整備（工事監理委託料） 39
 - （仮称）四番町公共施設整備（事務費） 39
- 2 安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます 40
 - 次世代育成手当 42
 - ベビーシッター利用支援事業 43
 - 子ども発達センター 43
 - 発達障害等の療育経費助成 43
 - 障害児通所給付事業 44
 - 重症心身障害児等支援事業 44
 - はばたきプラン 45
- 3 他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を共に育む教育を進めます 46
 - 特別支援学級通学支援 47

4	グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、 主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける 質の高い教育を進めます	48
	国際理解教育の推進	49
	コーディネーショントレーニングの推進	49
	ICT学校教育システムの推進	50
5	児童・生徒が安全にのびのびと成長できる環境を 整えます	51
	和泉小学校・いずみこども園等施設整備調査検討	52
	教育施設の整備・維持管理手法の調査検討	52
	お茶の水小学校・幼稚園仮校舎運営	53
	お茶の水小学校・幼稚園の整備（工事費）	53
	お茶の水小学校・幼稚園の整備（工事監理委託料）	53
	お茶の水小学校・幼稚園の整備（事務費）	53
	お茶の水小学校・幼稚園の整備（埋蔵文化財調査）	53

1

保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます【ちよだみらいプロジェクト：施策の目標 22】

保護者の就業形態等の多様化に応じた教育・保育の形態が選べ、どの教育・保育施設でも子どもたちがのびのび成長できるよう良好な環境を整えます。

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 多様な保育ニーズに対応した、教育・保育施設を整備・供給・活用することで、待機児童ゼロを継続している。
- 区立・民間園が、同水準の教育・保育を提供し、小学校との連携・交流をしている。
- 児童施設の計画的な改築整備や大規模改修が進められ、子どもたちを育む環境が整っている。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業（掲載ページ）				
待機児童ゼロ対策（保育園・学童クラブ）				
私立保育所等整備補助（私立保育所）（P35）		707,910	442,455	265,455
学童クラブ事業運営（P37）	拡充	8,219	6,946	1,273
保育園事業運営		210,506	209,730	776
こども園事業運営		123,144	125,240	△ 2,096
民間事業者支援（保育園）				
私立保育所等運営補助（P36）	拡充	4,263,237	4,185,723	77,514
地域型保育事業運営補助（P36）	拡充	512,236	528,168	△ 15,932
認証保育所等運営補助（P36）	拡充	1,162,948	1,325,984	△ 163,036

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を 実現するための主な取組み	新規 拡充	4予算額	3予算額	増(△)減額
主な事業（掲載ページ）				
民間事業者支援（学童クラブ）				
いずみこどもプラザ運営補助（P37）	拡充	90,758	89,235	1,523
富士見わんぱくひろば事業運営（P37）	拡充	108,748	110,964	△ 2,216
学校内学童クラブ（P37）	拡充	191,865	201,798	△ 9,933
私立学童クラブ運営補助（P37）	拡充	562,159	602,774	△ 40,615
児童施設の整備				
教育施設の整備・維持管理手法の調査検討 （P52）	新規	22,000	0	22,000
四番町保育園・児童館仮施設整備・運営（代替施設 の整備）（P38）	新規	744,109	0	744,109
四番町児童館物品等移設（P38）	新規	8,490	0	8,490
四番町保育園物品等移設（P38）	新規	8,505	0	8,505
（仮称）四番町公共施設整備（P39）		810,864	133,596	677,268
その他				
病児・病後児保育室運営（P36）	拡充	14,844	24,628	△ 9,784
保育士奨学金返済支援助成（P37）	拡充	15,000	8,000	7,000
園内業務支援システム（P38）	新規	12,635	0	12,635

私立保育所等整備補助（私立保育所）

707,910千円（ 442,455千円）

▶子育て推進課

区民の保育需要に應えるため、私立認可保育所を整備する保育所設置運営事業者に対し、保育所整備に関する経費の補助を行っています。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、区有地である旧高齢者センター跡地に整備予定の私立認可保育所の開設準備を進めます。

■（仮称）まなびの森保育園神保町〈認可保育所〉 令和5年4月開設

【所在地】 神田神保町二丁目20番地

【運営事業者】 株式会社こどもの森

【定員】 100名

【開所時間】 基本保育時間 7：30～18：30

延長保育時間 18：30～20：30

私立保育所等運営補助(認可保育所)	3,859,288千円 (3,796,732 千円)
私立保育所等運営補助(認定こども園)	403,949千円 (388,991 千円)
地域型保育事業運営補助(家庭的保育事業)	25,605千円 (44,892 千円)
地域型保育事業運営補助(小規模保育事業)	53,656千円 (59,019 千円)
地域型保育事業運営補助(居宅訪問型保育事業)	257,034千円 (285,018 千円)
地域型保育事業運営補助(事業所内保育事業)	175,941千円 (139,239 千円)
認証保育所等運営補助	1,162,948千円 (1,325,984 千円)

拡充 ▶子ども支援課

私立保育所等の安定的な運営を継続していくため、保育事業者に対し、栄養士や看護師など専門職を配置した場合等、保育所等の運営に係る経費の補助や、家賃補助等人材確保に係る経費の補助を行っています。

令和4年度は、保育士等の収入を3%程度引き上げるための取組みを実施する保育事業者に対して賃金改善に必要な経費の補助を行い、保育士等の処遇改善をより一層図っていきます。

また、認可保育所や認定こども園については、令和3年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響による園児数の減少が特に見込まれることから、0歳児から2歳児クラスの園児数が定員に満たない場合でも十分な保育環境を維持できるよう必要な経費の補助を行い、子どもたちが安心して過ごせる環境の確保に努めていきます。

病児・病後児保育室運営	14,844千円 (24,628千円)
--------------------	-----------------------------

拡充 ▶子ども支援課

保護者の子育てと就労の両立を支援するため、区立保育園等において、病気の回復期にある児童を一時的に預かる病後児保育を実施しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により病後児の受け入れが困難な状況が続いているほか、児童の状態に応じた保育を実施していく必要があることから、令和4年度は、区内保育施設等へ看護師を派遣し、児童が安全・安心に過ごせる体制を確保します。

保育士奨学金返済支援助成

15,000千円 (8,000千円)

拡充 ▶子ども支援課

保育士の人材確保と離職の防止を図り、質の高い保育サービスの提供につなげるため、保育士養成校を卒業後、区内の保育施設等で勤務する保育士に対して、奨学金の返済に係る費用を助成（年24万円を上限に最大10年間）しています。

令和4年度は、奨学金のほか教育ローンも助成対象とし、保育士の負担の軽減を図るとともに離職を防ぎ、保育人材の確保・定着を図ります。

学童クラブ事業運営

8,219千円 (6,946千円)

拡充 ▶児童・家庭支援センター

保護者の就労等の理由により、放課後等に適切な保育を受けられない小学生に遊びと生活の場を提供するため、区立の学童クラブにおいて、子どもたちの健全な育成と子育て家庭の支援を行っています。

令和4年度は、感染症予防やアレルギー対応等の医学的、専門的知見が必要な課題に対応する体制を強化するため、区立の学童クラブに嘱託医を配置します。

いずみこどもプラザ運営補助

90,758千円 (89,235千円)

富士見わんぱくひろば事業運営

108,748千円 (110,964千円)

学校内学童クラブ

191,865千円 (201,798千円)

私立学童クラブ運営補助

562,159千円 (602,774千円)

拡充 ▶児童・家庭支援センター

保護者の就労等の理由により、放課後等に適切な保育を受けられない小学生に遊びと生活の場を提供するため、民間事業者が運営する学童クラブ事業や拡大型を含む一時預かり保育事業等の運営支援を行い、子どもたちの健全な育成と子育て家庭の支援を行っています。

令和4年度は、学童クラブの活動内容をより充実させるため、プログラムやイベント等の実施に係る経費の補助を上乗せします。

その他、人材確保に係る補助を見直して活用しやすくし、研修に係る経費の補助を新設することで、人材の定着と支援員のスキルアップを図り、さらなるサービス向上に努めます。

また、放課後児童支援員等の収入を3%程度引き上げるための取組みを実施する事業者に対して賃金改善に必要な経費の補助を行い、支援員の処遇改善を推進していきます。

園内業務支援システム

12,635千円 (一千円)

新規

▶子ども支援課

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、園児の体調管理のきめ細かな把握や、園と保護者との情報共有の迅速化の必要性がこれまで以上に増しています。

令和4年度は、これらの課題に適切に対応できる環境を整えるため、園内業務を支援するシステムを導入します。

専用システムを活用することで、連絡帳のやり取りや緊急連絡等の情報共有が迅速化します。

また、児童の健康状態をシステムに登録することで、迅速に園内の職員間で児童の状況を共有することが可能になります。

加えて、保育士等の業務負担を軽減するため、登降園時間をICカードを用いて登録・管理するようにし、延長保育料の管理などの事務作業の効率化を図り、より一層の保育時間の充実と保育の質の向上を図ります。

**四番町保育園・児童館仮施設整備・運営
(代替施設の整備)**

744,109千円 (一千円)

四番町児童館物品等移設

8,490千円 (一千円)

四番町保育園物品等移設

8,505千円 (一千円)

新規

▶子ども施設課、児童・家庭支援センター、子ども支援課

(仮称)四番町公共施設整備(P39参照)に伴い、四番町保育園は平成30年3月から、四番町児童館は同年2月から民間企業が所有する近隣の土地において、仮施設での運営を行っています。

土地の使用貸借期限は令和5年3月末までの予定ですが、新施設の工期が令和8年度まで延伸することになったため、新施設が開設するまでの代替施設の整備を早急に進めていきます。

(仮称) 四番町公共施設整備 (工事費)	788,000千円	(111,000千円)
(仮称) 四番町公共施設整備 (工事監理委託料)	20,000千円	(19,000千円)
(仮称) 四番町公共施設整備 (事務費)	2,864千円	(3,596千円)

※工事費及び工事監理委託料の金額は、地域振興部、環境まちづくり部、政策経営部分を含む合計

▶子ども施設課

四番町保育園・児童館等施設は、隣接する四番町図書館・四番町アパート等も含めた一体的な施設整備を行っています。

新たな施設は安全・安心をベースとし、子育て機能の拡充と住みよい住環境の実現をコンセプトに、バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮とともに、自然エネルギー・再生可能エネルギー利用の促進など、居住者・利用者と環境に配慮した施設をめざしています。

新施設の工期は、令和8年度まで延伸しますが、引き続き、周辺地域に十分配慮しながら既存施設の解体工事及び新築工事を進めていきます。

【所在地】四番町1番地、11番地

【延床面積】約 12,400 m²

【階数】地上 12 階、地下 1 階

【整備費 (設計を含む)】約 9,941 百万円

【開設予定】令和8年度

【主な機能】四番町保育園、四番町児童館、四番町図書館、区営住宅、職員住宅、区民集会室、防災備蓄倉庫

■整備スケジュール

平成 29 年度	基本構想
平成 29 年度～30 年度	基本設計
平成 30 年度～令和元年度	実施設計
令和元年度～8 年度	解体・新築工事
令和8年度	開設予定

2

安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます

【ちよだみらいプロジェクト：施策の目標 23】 [73 ページに再掲]

妊娠・出産から子育てまで継続した支援を行い、子育てに関する不安が少なく、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるまちづくりをめざします。

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 子育て支援や児童相談の機能強化により、保護者が安心して育児ができ、児童虐待が防止されている。
- 妊娠・出産、子育ての切れ目のないサービスにより、子どもが心身共に健康に成長している。
- 次世代育成に関する手当や助成制度により、育児の経済的負担が軽減されている。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業 (掲載ページ)				
子ども・子育てに関する総合相談／児童の虐待防止・早期発見				
子育てコーディネーター事業		10,500	10,500	0
子ども健やか育み事業		39,943	45,010	△ 5,067
はばたきプラン (P45)	拡充	20,333	19,896	437
児童の虐待防止・早期発見				
子どもの権利推進		4,668	3,000	1,668
妊娠・出産から育児まで切れ目のない母子保健サービス				
出産・子育て支援 (P75)	拡充	43,090	34,131	8,959
不妊治療助成		17,125	9,400	7,725

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業（掲載ページ）				
子どもを支援するための給付				
次世代育成手当（P42）	拡充	362,770	104,538	258,232
児童手当		763,815	873,575	△ 109,760
こども医療費助成		446,804	446,804	0
ベビーシッター利用支援事業（P43）	新規	4,850	0	4,850
発達障害等の療育経費助成（P43）	拡充	4,620	3,960	660
障害児通所給付事業（P44）	拡充	93,574	90,639	2,935
重症心身障害児等支援事業（P44）	拡充	41,030	40,280	750
その他				
いずみこどもプラザ運営補助（再掲）（P37） ※児童館的機能、一時預かり保育分も含む	拡充	90,758	89,235	1,523
富士見わんぱくひろば事業運営（再掲）（P37） ※児童館的機能、一時預かり保育分も含む	拡充	108,748	110,964	△ 2,216
子ども発達センター（P43）	拡充	99,658	92,494	7,164

次世代育成手当

362,770千円 (104,538千円)

拡充

▶子育て推進課

次代の社会を担う児童の健全な育成を支援するため、国の児童手当の支給対象となっていない妊娠時と、高校生相当年齢までの子どもを養育する子育て世帯を対象に、所得制限のない「次世代育成手当」を東京23区で唯一、独自に支給しています。

また、児童手当法の改正により特例給付の一部が廃止されることに伴い、支給対象外となる世帯を新たに次世代育成手当の対象とすることで、引き続き全ての区民の子育てを支援していきます。

〈制度の概要〉

令和4年5月まで（現行制度）

年齢	妊娠時	3歳未満	3歳～小学生	中学生	高校生相当
所得区分※1	858万円以上	(国) 児童手当 月額5,000円（特例給付）			(区) 次世代育成手当 月額5,000円
	858万円以下 622万円以上	月額5,000円（特例給付）			
	622万円未満	月額15,000円	月額10,000円 ※2	月額10,000円	



令和4年6月以降（新制度）

年齢	妊娠時	3歳未満	3歳～小学生	中学生	高校生相当
所得区分※1	858万円以上	【廃止】(国) 児童手当 月額5,000円（特例給付） ↓ 【拡充】(区) 次世代育成手当 月額5,000円			(区) 次世代育成手当 月額5,000円
	858万円以下 622万円以上	(国) 児童手当 月額5,000円（特例給付）			
	622万円未満	月額15,000円	月額10,000円 ※2	月額10,000円	

※1 所得は、児童手当法第5条第1項に規定する所得をいいます。

区分は、扶養親族等及び児童の人数に応じて変動します。

※2 第3子以降は月額15,000円

ベビーシッター利用支援事業

4,850千円 (一千円)

新規

▶児童・家庭支援センター

日常生活上の突発的な事情や社会参加等により一時的にベビーシッターによる保育を必要とする保護者が、指定の事業者でベビーシッターの派遣を利用した場合、利用料の一部を助成する事業を令和3年12月から実施しています。

令和4年度も引き続き、利用1時間あたり2,500円(22時～翌7時の利用は3,500円)を上限に助成し、保護者の経済的な負担を軽減するとともに、多様な子育てニーズに応じていきます。

子ども発達センター

99,658千円 (92,494千円)

拡充

▶児童・家庭支援センター

子ども発達センター「さくらキッズ」では、障害や発達に課題のある児童への専門的な療育指導をはじめ、心理士や作業療法士等の専門職員が行う指導により、児童一人ひとりの状況に応じて成長・発達を促す支援をしています。あわせて、保護者に対して子どもの発達に関するアドバイスや助言を行うほか、保護者同士の交流や情報交換の場をつくることで、保護者支援も行っています。

令和4年度は、医療的ケア児がセンターを利用する際に、保護者の介護負担の軽減や相談体制を充実するため、看護師を配置し、利用者がより安心して施設を利用できる体制を強化します。

加えて、保護者に対する支援を充実させるため、子育てに関する身近な相談相手として、障害や発達に課題のある児童の子育て経験がある「ペアレントメンター」を活用した個別相談や懇談会等も実施していきます。

発達障害等の療育経費助成

4,620千円 (3,960千円)

拡充

▶児童・家庭支援センター

障害や発達に課題のある児童が専門の療育機関等で相談、検査及び療育指導等を受けた場合にかかる経費の一部を助成し、保護者の経済的・精神的な負担を軽減するとともに、子どもの障害や発達課題の早期発見及び早期療育指導を促すことで心身の発達を支援しています。

これまでは2歳児以上を助成対象としていましたが、低年齢からの療育支援を希望する保護者のニーズに十分応えるため、令和4年度は、0歳児及び1歳児も助成対象に加えることで、早期からの療育支援を推進します。

障害児通所給付事業

93,574 千円 (90,639 千円)

拡充

▶児童・家庭支援センター

児童発達支援、放課後等デイサービスなど、児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの利用に関する相談・調査・判定及び受給者証の交付を行っています。

当該サービスの就学前児童の利用者負担は、幼児教育の無償化に伴い3歳から5歳の児童は無料となった一方、その他の児童は世帯収入・所得に応じた利用者負担が生じています。

令和4年度は、幼児教育・保育無償化の対象外である0歳から2歳の児童について区が独自に全額補助することで、保護者の負担軽減を図るほか、重症心身障害児の日中活動の場が安定的に確保されるよう、重症心身障害児通所施設に対し運営経費の補助を行います。

重症心身障害児等支援事業

41,030 千円 (40,280 千円)

拡充

▶児童・家庭支援センター

重度・重症心身障害児及び医療的ケア児をはじめ、特別支援学校や特別支援学級に通う児童（以下「重症心身障害児等」という。）を対象とした児童発達支援及び放課後等デイサービスを実施する民間事業者に対し、開設及び運営に要する経費の一部を補助し、重症心身障害児等が身近な地域で療育や専門指導を受けられる体制の確保を図っています。

令和4年度は、日常生活で人工呼吸器等の医療機器を常時使用する医療的ケア児が地域で安心して在宅生活を送れるよう、外出時や災害発生時の電源確保のための予備バッテリーや蓄電池の購入費用について5万円を上限に助成します。

はばたきプラン**20,333**千円 (19,896 千円)**拡充**

▶児童・家庭支援センター

障害や発達に課題のある児童が健やかに成長し、保護者とともに地域で安心して暮らしていけるよう、ライフステージに応じた個別の支援計画である「はばたきプラン」を作成し、支援しています。あわせて、子どもの支援情報をまとめた「子育てカルテ」により、保護者の希望に応じて「はばたきプラン」とともに学校や関係機関への情報提供や共有を行うことで、切れ目のない支援へとつなげています。

令和4年度は、新たに「医療的ケア児等支援協議会」を設置します。医療的ケア児は、日常的に居宅における介護や看護、療育等のサービスを利用することが多いことから、出生後からの長期入院を経て地域生活に移っていく中で「はばたきプラン」が大きな役割を担っています。医療的ケア児に関わる多くの関係機関の連携・支援の体制づくりを進めていきます。

3

他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を共に育む教育を進めます【ちよだみらいプロジェクト：施策の目標 25】

個に応じた指導の充実を図るとともに、多様な人間関係の中で、他者を思いやり、相手の立場に立って考えられる力を育むため、心の教育を充実します。

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 多様な人と関わる経験や自然体験、社会体験等から学んだ事を活かし、思いやりの心や規範意識のある人材が育っている。
- 特別な支援が必要な子どもに適切な支援体制が整備され、誰に対しても分け隔てなく、互いの立場を尊重した、共生の理念を持った人材が育っている。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業（掲載ページ）				
心の教育の推進／子どものいじめ防止対策				
子どもの権利推進（再掲）		4,668	3,000	1,668
多様な体験活動の充実				
特色ある教育活動		49,765	50,614	△ 849
子どものいじめ防止対策				
いじめ防止プロジェクト		9,181	8,699	482
個に応じた指導の充実				
個に応じた指導の充実		122,684	123,603	△ 919
特別支援学級通学支援（P47）	拡充	83,424	33,997	49,427

特別支援学級通学支援**83,424** 千円 (33,997 千円)**拡充**

▶指導課

知的障害特別支援学級に在籍する児童の通学に際し、児童本人と保護者の負担軽減を図るため、添乗員付車両を運行して自宅から小学校までの登校時の通学支援を行っています。

令和4年度は、千代田小学校に加えて富士見小学校にも特別支援学級が新設されることに伴い、両校への通学支援を実施するとともに、登校時に加えて下校時にも車両を運行することで、児童本人と保護者の負担のさらなる軽減を図ります。

4

グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます

【ちよだみらいプロジェクト：施策の目標 26】

社会の変革に対応するため、国際教育の一層の推進に努め、学力・体力の向上を図るとともに、各学校の実情を活かした特色ある教育の充実を図ります。

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 基礎的な学力と体力を有し、困難な課題にあっても、協働しながら、主体的・創造的に、問題解決できる人材が育っている。
- 国内外で外国人等に対して、積極的にコミュニケーションを図り、日本の魅力を紹介することができる共生の理念のある人材が育っている。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業 (掲載ページ)				
きめ細かな指導の推進／健康・食育・体力向上プランの推進／国際教育の推進／伝統文化理解教育の推進				
特色ある教育活動 (再掲)		49,765	50,614	△ 849
きめ細かな指導の推進／健康・食育・体力向上プランの推進				
ICT学校教育システムの推進 (P50)	拡充	1,100,388	1,306,298	△ 205,910
健康・食育・体力向上プランの推進				
コーディネーショントレーニングの推進 (P49)	新規	4,535	0	4,535
国際教育の推進				
国際理解教育の推進 (P49)	拡充	46,641	42,134	4,507

国際理解教育の推進

46,641 千円 (42,134 千円)

拡充

▶ 指導課

国際的な視野を広め、国際性豊かな幼児・児童・生徒の育成を図り、広く国際理解教育を推進することを目的に、ALT（外国語指導助手：Assistant Language Teacher）を区立の全校園に派遣し、外国語活動を行っているほか、中学校・中等教育学校の生徒を対象に、年1回英語検定の検定料の助成を行っています。

令和4年度は、英語検定について、より難易度の高い級の取得をめざす生徒が増えていることを受け、検定料の助成対象となる級を1級まで拡大します。

また、中学校2年生を対象とした英国ウエストミンスター市との海外派遣・受入事業については、新型コロナウイルス感染拡大により実施が困難な状況が続いていますが、これまで深めてきた友好と親善が途絶えることのないよう、オンラインでの交流を継続します。あわせて、体験型英語学習施設である「Tokyo Global Gateway」の中学生向けプログラムに参加することで、国際理解教育の機会を確保します。

コーディネーショントレーニングの推進

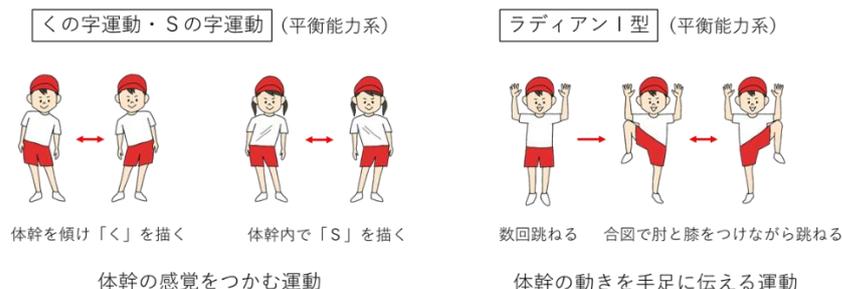
4,535 千円 (ー 千円)

新規

▶ 指導課、九段中等教育学校経営企画室、子ども支援課

「コーディネーショントレーニング」とは、脳と体幹に刺激を与える運動を行うことで、動きの学習能力を高める目的で行われる運動です。これを行うことにより、体力・運動能力の向上のほか、けがの減少、やる気や集中力の向上などの効果が期待できるといわれています。

区立の保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校・中等教育学校の全学校・園において「コーディネーショントレーニング」を実施し、子どもたちのスポーツに対する興味・感心を高める機会を創出します。



資料提供：日本コーディネーショントレーニング協会（JACOT）

I C T学校教育システムの推進**1,100,388**千円 (1,306,298千円)**拡充**

▶指導課、九段中等教育学校経営企画室

新たな時代を生き抜く人材の育成に向け、I C Tの教育施設への環境整備に努め、学校教育や学校事務で活用しています。

令和3年度は、必要なシステムを一体化し、統合的に管理するための機器整備を行い、これまでの教育実践と最先端のI C Tをベストミックスした教員・児童・生徒の力を最大限に引き出す環境を整えたほか、九段中等教育学校では、最新のソフトウェアや高スペックのタブレット型P CをP C教室・L L教室に整備しました。

令和4年度は、教職員の働き方改革に対する取組みをさらに推進するため、教職員の出退勤管理を電子化するためのシステム構築を行い、教職員が限られた時間の中で最大限の生産性を上げられる環境の整備に取り組めます。

5

児童・生徒が安全にのびのびと成長できる環境を整えま す【ちよだみらいプロジェクト：施策の目標 27】

児童・生徒が一日の大半を過ごす教育施設を発育状況にあわせて良好な環境に整えるとともに、子どもが安全で健やかに成長できるまちづくりをめざします。

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げためざすべき 10 年後の姿

- 施設の計画的な改築整備や大規模改修が進められ、子どもがのびのびと育ち、学び、成長できる施設となっている。
- 家庭、学校、地域が密接に連携・協力し、子どもが安心して過ごせる地域となっている。
- 区だけでなく区民や事業者等の様々な人々が、子どもの成長期における外遊びの必要性や重要性を認識し、その連携・協力のもと、子どもが外でのびのびと遊ぶことのできる環境が整っている。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充	4 予算額	3 予算額	増(△)減額
主な事業（掲載ページ）					
教育施設の整備					
和泉小学校・いずみこども園等施設整備調査検討 (P52)			9,115	6,960	2,155
教育施設の整備・維持管理手法の調査検討（再掲） (P52)		新規	22,000	0	22,000
お茶の水小学校・幼稚園仮校舎運営 (P53)			179,788	178,766	1,022
お茶の水小学校・幼稚園の整備 (P53)			1,738,206	1,753,020	△ 14,814
児童の安全確保の取組み					
子どもの安全・安心			4,102	5,412	△ 1,310
子どもの遊び場確保の取組み					
子どもの遊び場確保の取組み			107,652	87,910	19,742

和泉小学校・いずみこども園等施設整備調査検討 9,115千円(6,960千円)

▶子ども施設課

和泉小学校・いずみこども園等施設は昭和62年の竣工から築34年が経過し、設備などの老朽化が進んでいることに加え、各階で利用者の動線が混在するなど安全管理上の課題を抱えていることから、建替整備を検討しています。

令和4年度は、整備計画策定に向けて、庁内検討会のほか、子どもたちに最も身近な学校・園の教職員や保護者等で構成される懇談会を中心に意見を話し合いながら基本構想を作り上げていきます。あわせて、地域関係者や施設利用者と意見交換をしながら合意形成を図っていきます。

また、隣接する和泉公園との一体的な整備に向けて敷地の調査を行います。

■整備スケジュール

令和4年度	基本構想・整備計画策定
令和4年度～6年度	基本設計・実施設計
令和6年度～9年度	新築工事
令和9年度	竣工予定

教育施設の整備・維持管理手法の調査検討 22,000千円 (ー千円)

新規

▶子ども施設課

富士見みらい館は、0歳から18歳までの子どもの成長を総合的に支援するため「総合子ども施設」としてPFIの手法を活用して整備し、平成22年に開設しました。令和6年度末をもってPFI事業者との契約期間の満了を迎えるため、PFIによる整備手法及び令和6年度末までの維持管理について検証を行い、効果やメリット・デメリットの検証を行うとともに、契約期間満了後の管理運営方法等を検討するための調査・研究を行います。

■スケジュール

令和4年度	教育施設の整備・維持管理手法調査検討
令和5年度	検討結果に基づく今後の管理運営方法への移行準備
令和7年度	次期手法による施設維持管理の開始

お茶の水小学校・幼稚園仮校舎運営	179,788千円	(178,766千円)
お茶の水小学校・幼稚園の整備(工事費)	1,603,172千円	(1,700,000千円)
お茶の水小学校・幼稚園の整備(工事監理委託料)	45,535千円	(50,000千円)
お茶の水小学校・幼稚園の整備(事務費)	5,019千円	(3,020千円)
お茶の水小学校・幼稚園の整備(埋蔵文化財調査)	84,480千円	(一 千円)

▶学務課、子ども施設課

お茶の水小学校・幼稚園は、老朽化が進んだ小学校校舎の機能更新を図るとともに、幼稚園仮園舎を校舎に取り込み、地域の防災拠点や地域コミュニティの核としての役割を踏まえた施設整備を進めており、令和5年度の開設をめざして校舎の新築工事を継続しています。

工事期間中は、仮校舎までの送迎バスを運行していますが、工事関係車両の運行上の都合により、令和4年1月から発着場所を錦華公園前から錦華通りに変更しています。

令和4年度は、引き続き学童擁護や見守り要員を配置することで、子どもたちの安全の確保に努めるとともに、電車通学する児童の保護者への通学定期券額の補助も継続して行っています。

また、令和2年度から実施している敷地内から出土した埋蔵文化財の調査は、令和4年度に完了します。

【所在地】神田猿樂町一丁目1番1号

【延床面積】約13,800㎡ 【階数】地上6階、地下2階

【整備費(設計を含む)】 約9,782百万円

【開設予定】令和5年度

【主な機能】小学校、幼稚園、学校内学童クラブ

■整備スケジュール

平成29年度	基本構想
平成29年度～30年度	基本設計
平成30年度～令和元年度	実施設計
令和元年度～2年度	解体工事
令和2年度～4年度	埋蔵文化財調査
令和2年度～5年度	新築工事
令和5年度	開設

